

合格体験記

名古屋大学法学部合格

小原 佑介(46 回生)

安城市立安城北中学校出身

受験勉強において僕が大切だと思うことは、自分に合った方法を見つけることです。

例えば、僕は学校をベースに勉強して、進度等は授業に合わせていました。そして、授業で足りない部分は動画等を利用して補強しました。なお、課外授業は取りましたが、自宅のほうが集中できたので僕は自学には参加しませんでした。

日本史などの暗記科目は、学校の授業に加えて Youtube の動画を何度も繰り返し視聴（2 倍速でご飯を食べながら視聴して時短）し、学校の一問一答集やワークを何度も繰り返しました。暗記科目は、どんなに頑張ってもすぐに忘れてしまうことを前提とし、何度も繰り返すことがカギだと思います。（ちなみに、日本史・世界史は Try の無料動画、倫政は mini イケ先生の動画が分かりやすいです。）

数学など理系科目は、問題を解くことよりも問題のカギを見抜くことを重視して取り組みました。まずは自分で考え、詰まったら解説を見て次のステップを確認し、再び自力で考えることを繰り返して一問に時間をかけて少しずつ進みました。そして、解き終わったらその問題で何が解答のカギなのか（「最小値を相加相乗平均で求める」「 $1/6$ 公式を使うと早い」など）を確認しました。もう一度解く時間がないときは、カギを意識して解答の流れを頭の中で組み立てるという方法で復習しました。学校採用のワークは解説が不親切なものが多いですが、教科書やインターネットを参考に解説の「行間」を埋めることも勉強の一環とし、思考力を身に付けました。

僕はこのように勉強しましたが、自分に合った方法を見つけることが大切だと思います。学校の課外授業・登録自主学習、塾や参考書・インターネット学習など、現代は勉強手段にあふれています。その中から自分に合ったものを見つけ、組み合わせることで効率よく学力を高められると思います。普段の定期テストを目標に、勉強方法を組み立てて試すのが有効だと思います。うまくいかないときは少しやり方を変えて、次のテストでまた試す、これを 1・2 年生のうちに繰り返して、3 年生までに自分のやり方を構築できるとよいと思います。

もちろん、毎日継続的に学習することが理想です。でも、思うようにできなくても自分を責めすぎないでください。辛くても、回復に時間がかかっても、少しずつ前に進めば努力が報われるはずです。

最後に、お世話になった先生・仲間たちに感謝するとともに、高校受験をされる方々と大学受験に向かう後輩たちへ、日々の努力が実を結ぶことを願っています。